

「新型コロナウイルス感染症緊急対策〈令和2年度事業（第1弾～第8弾）の総括〉」に掲載以外の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業一覧

事業名	担当課名	事業の概要	事業の実績	総事業費	交付金 充当額	事業開始 年月日	事業完了 年月日	成果
防災備蓄品(感染症対策)整備事業(第1弾)	防災安全課	近年頻発する自然災害に備え、開設する避難所の衛生環境を保持するためにマスク、消毒液等の衛生資材を購入備蓄する。	サージカルマスク44円×10,000枚=440,000円 消毒液1,139円×108本=123,012円 非接触式体温計12,980円×15本=194,700円 合計 757,712円	757,712	757,712	R2.5.11	R2.6.30	衛生資材を必要数備蓄することで、各避難所の感染予防を図ることができた。
安全衛生管理事業	市長公室	市役所、消防、保育所及び学校施設での新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、非接触型放射温度計を購入する。	非接触型放射温度計の購入 38,500円×20台=770,000円	770,000	770,000	R2.4.3	R2.4.30	市役所の乳幼児健診時などのイベント時に活用して感染対策を実施したほか、消防、保育所、学校施設等での感染拡大防止に繋がった。
子ども・子育て支援交付金	子育て支援課	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るために放課後児童クラブ(学童保育所)を臨時休業させた場合等の利用料の日割りに係る経費を補助する。	放課後児童支援員等の人件費及び活動経費(1日あたりの上限日額:500円)の補助 合計 2,482,000円	2,482,000	828,000	R2.4.1	R3.3.31	利用料を日割りすることにより自粛要請に対する保護者の理解が得やすくなり、地域における感染拡大防止に資した。
学校臨時休業対策費補助金	学校教育課	保護者負担軽減の観点から、臨時休業期間の学校給食費(食材費)の保護者への返還や食材のキャンセル費等により負担となる費用に対し補助を行う。	学校がキャンセルできずに事業者から購入した食材にかかる経費(補償金)を補助。 小学校11校 258,827円 中学校3校 266,014円 合計 524,841円	524,841	130,841	R2.6.12	R2.7.30	新型コロナウイルス感染症による臨時休校で不要となった購入済みの給食食材料費について、保護者負担することを回避した。
卒園児、卒業生支援事業(花束プロジェクト)	農政課	コロナ禍により依然として影響を受けている市内花き農家を支援すること、卒園及び卒業(小中学生)される園児、児童・生徒を祝福することを目的とする。	平均1,000円(税込)の花束を保育園・幼稚園の卒園児及び小中学校の卒業生へ贈呈。 卒園児 800円×467束=373,600円 小学生 1,000円×520束=520,000円 中学生 1,200円×422束=506,400円 スタンド花飾り 20,000円×(14校+16園)=600,000円 合計 2,000,000円	2,000,000	2,000,000	R3.2.1	R3.3.31	市内花き農家の生産している花きを花束や花飾りに使用することで、花き農家の支援となった。また、園児・児童・生徒に花束を贈ることで、子供及び保護者に地元産の花きを知る機会を創出できたことで、地産地消推進にもつながり、持続的な花き農家支援につながっている。
障害者総合支援事業費補助金	福祉課	特別支援学校等の一斉臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用の増加が見込まれることから、追加的に生じたサービス分に係る利用者負担について補助する。	福岡県知事が必要と認めた額を補助。 4月:16人 20,940円 5月:10人 5,326円 6月:7人 3,959円 合計:30,225円	30,225	8,225	R2.4.1	R3.3.31	一斉臨時休業下、在宅で1人で過ごすことができない対象児童がいる世帯において、仕事を休むことができない保護者の経済的負担を抑制することができた。